

灯台活用の拡大に向けた中間とりまとめ（概要）

灯台は、岬の先端の風景と調和して美しい景観を生み出し、歴史的・文化的に高い価値を有するものも多いが、地域による灯台活用を広げるためには、灯台に関する情報発信の強化や地域の関係者による連携した取り組みが必要である。

灯台活用のための主な課題

- ✓ 灯台の一般公開等の情報が一元的に入手できない
- ✓ 外国人を含む幅広い層に向けた情報発信が不十分
- ✓ 灯台の所有者・管理者の取り組みだけでは限界がある
- ✓ 若者を含め地域の人を広く巻き込む体制ができていない
- ✓ 持続可能な取り組みにつながらない



灯台活用促進のための方策

情報発信の強化

○情報発信手法の改善

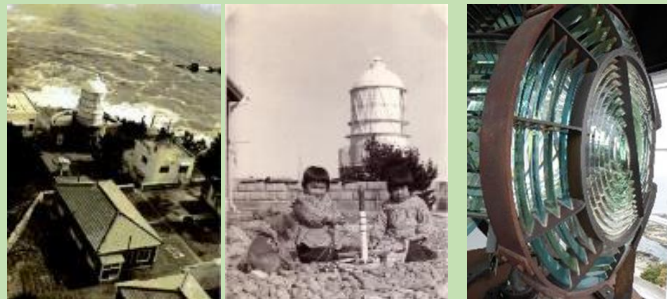
- 灯台に関する情報を一元的に発信するポータルサイトの立ち上げ
- 情報の多言語化の推進
- SNS、Youtubeや地域の観光サイトなど多様な情報発信

など

○情報発信内容の改善

- 灯台本体に加え、レンズ、霧笛舎、灯台守の宿舍跡地、さらに地域の郷土史など現地の歴史的な施設・トピックの情報を充実
- 関連イベント・お祭り、周辺の観光施設・風景、映画での撮影シーンなどの関連情報を充実
- 灯台カードDigitalの充実

など



昭和30年代当時の灯台守の生活の様子

フレネルレンズ

地域連携の強化

○地域連携の枠組み

- 地方公共団体を中心とした地域の商店街、NP0など、関係者による協議会等の組織（既存の協議会を活用することも検討）

○灯台の一般公開（登れる化）の促進

- 地方公共団体による一般公開事業拡大、灯台用地の活用促進

○文化財や観光コースとしての活用

- 文化財保護法改正を踏まえ、重要文化財等の文化財指定を推進
- ハイキングコースのゴールなど、ランドマークとしての活用

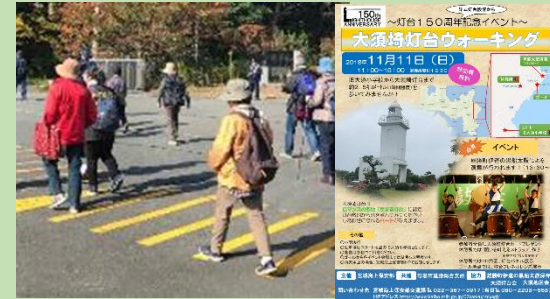
○灯台に親しみを持つような新たな活用

- 公募によるデザイン灯台化、ラッピング、3Dマッピングの促進
- 映画やドラマのロケ地としての活用の促進
- 夜間の灯台見学、星空観察、音楽会、グランピングの実施

など



灯台へのラッピング



灯台を活用したウォーキングイベント

持続可能な取り組みのため、飲食物・グッズ販売、ツアー、キャンプ、有料イベントなど、地域の活性化に寄与するような活用方法について検討。国有財産の活用については、国と調整の上、可能なところから取り組む。

灯台に多種多様な要素を掛け合わせることで、灯台の新たな魅力を引き出し地域活性化につなげていく。

様々な情報発信

SNS

インスタ映え
Youtube

ドローンで風景撮影

ポータルサイトの開設

夜間イベントの開催

ナイトクルージング

星空撮影会

緑日
ビアガーデン

キャンプ
グランピング

灯台の新たなイメージ

アートペイント
デザイン灯台

結婚式

映画やドラマの
ロケ地

ハイキングコース
サイクリングコース

プロジェクション
マッピング

地域性を活かした取組

フリーマーケット

温泉

郷土史・史跡

演劇や音楽イベント

地域のスポーツイベント

四季折々の植物、食